

新入社員研修報告書

口田 泰広

4月4日から5月17日まで、愛知県刈谷市にて Arms 株式会社の新入社員研修に行かせて頂きました。道端組で新入社員研修を1ヵ月半するのは初めての試みで、そのような経験をさせて頂けたことに感謝しています。

研修においては、まず社会人として働くために必要な能力を学びました。その中で最も大切であると思ったことはコミュニケーションです。最初にコミュニケーションの語源について学びました。語源はラテン語の「コムユナス」からきており「共有する」という意味でした。私は今までコミュニケーションをすることは、話をする事だと思っており話す力が大切だと思っていましたが、相手の話を聴く力や相手のことを思いやる心を身に付けることによりコミュニケーション能力の上達に繋がると思いました。またビジネスマナーも学び、挨拶の仕方や表情、身だしなみや立ち振る舞い、言葉遣いなどを細かく指導されました。難しいものも多くわからない部分も多いため、先輩方の真似をして早く社会人としてのマナーや振る舞いを身に付けられるようにしたいです。

研修の講義では、建設業界の事について広く浅く学びました。特に印象に残った講義は安全衛生についての講義でした。現場で事故を起こさないために報連相の必要性和、それらを円滑にするためのコミュニケーション能力の大切さを学びました。現場に配属されるとわからないことも多く、何が危険で事故につながるか理解していません。積極的にコミュニケーションを取ることで間接的に安全に繋がると思うため実践していきたいです。同じ講義の一環でイラストを見て危険箇所を挙げ改善策を練る KYT 訓練をグループワーク形式で行いました。KYT 訓練をして、気づきや視野の広さが他の人よりも狭いと感じました。また、私には何が危険でどうしなければならないのかをはっきり伝える能力が必要だと感じました。

研修外においては、同期の山田と岡と私の三人で共同生活をしました。私は共同生活をすることは初めてで不安な気持ちが強かったですが、同期三人で問題なく仲良く生活できて良かったと思います。また他の会社の新入社員とも仲良くなり、研修後に食事に行くことや連絡を取るなど交流ができ、また刺激を受けることも多く良かったと感じています。同期や他社の新入社員と切磋琢磨して頑張りたいと思いました。

研修を終えて、研修に行かせて頂いたことに感謝し、この研修で学んだことを身に付け自分の物にすることが、会社に対しての恩返しであると思うため、1ヵ月半学んだことを忘れずに仕事に取り組みたいです。